3-256-381-**02**(1)

ポータブルミニディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

"ウォークマン"、"WALKMAN"はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。 WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。

MZ-NE810

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5〜10ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

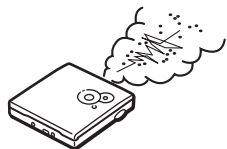
定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電スタンドなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る

❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く/パソコンから専用USBケーブルを抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

分解禁止

行為を指示する記号

強制

お使いになる前に

本機は、Net MDに対応した再生機です。従来の再生専用MD Walkmanの使いかたに加えて、パソコンとUSBケーブルで接続することにより、パソコンから音楽を録音することができます。
この取扱説明書では、ポータブルMDプレーヤー本体の使いかたを説明しています。パソコンとUSBケーブルでつないで使う基本的な操作や、ソフトウェアの詳しい操作についてはそれぞれのマニュアルがあります。下記を参照して必要なマニュアルをお使いください。

本体を使うときは

■ 取扱説明書（本書）

本体の操作全般についてのマニュアルです。本体の操作について詳しくはこちらをご覧ください。

困ったことがあったときは

■ 取扱説明書（本書）の「困ったときは」（42ページから）をご覧ください。

本体をパソコンにつないで使うときは

「Net MD Simple Burner Ver.1.2」ソフトウェアを使う

■ Net MD Simple Burner Ver.1.2 取扱説明書

Net MD Simple Burnerソフトウェアのインストール方法と操作についてのマニュアルです。

「SonicStage Ver.1.5」ソフトウェアを使う

■ パソコンでNet MDを使ってみよう！ SonicStage Ver.1.5簡単ガイド

SonicStageソフトウェアのインストール方法と基本的な操作についてのマニュアルです。

■ SonicStage Ver.1.5 ヘルプ

画面で見る電子マニュアルです。
SonicStageソフトウェアの詳しい操作の説明や、ソフトウェア使用中に困ったことがあったときは、こちらをご覧ください。

■ パーソナルオーディオ・カスタマーサポート

インターネット上のホームページです。本機とソフトウェアの最新のサポート情報を見ることができます。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

目次

使いかた編

困ったときは編

⚠警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、パソコンから専用USBケーブルを外して、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

国内専用機は海外で使用しない

ワールドモデル以外のACアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

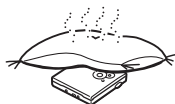
指定以外の充電スタンド、ACパワーアダプター、カーバッテリーコードなどを使わない

破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

ぬれた手でACパワーアダプターや充電スタンドをさわらない

感電の原因となることがあります。

本体やACパワーアダプター、充電スタンドを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

火のそばや炎天下などで充電・放置しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

充電スタンドの上に金属を置かない

充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

金属類と一緒に本体を携帯・保管しない

コイン、キーネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートし、発熱することがあります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターや充電スタンド、製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニッケル水素（Ni-MH）

乾電池

アルカリ

⚠危険　充電式電池、乾電池が液漏れしたときは

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液を触らない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険　充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定された充電スタンド、ACパワーアダプター以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯・保管する。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠警告　乾電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子と本体の乾電池ケース用の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

⚠注意　乾電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

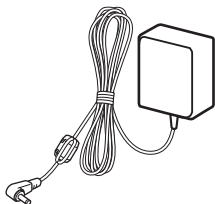
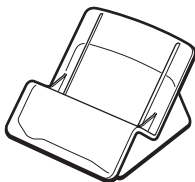
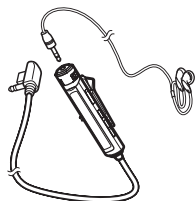
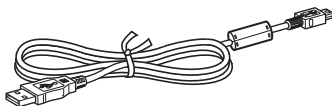
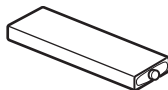
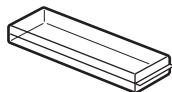
電波障害自主規制について

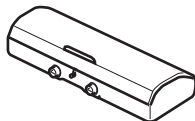
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本製品およびパソコンの不具合により、録音ができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償についてはご容赦ください。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
  （お問い合わせ先　（社）私的録音補償金管理協会　Tel.03-5353-0336）

SonicStage、OpenMG、Net MDおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。

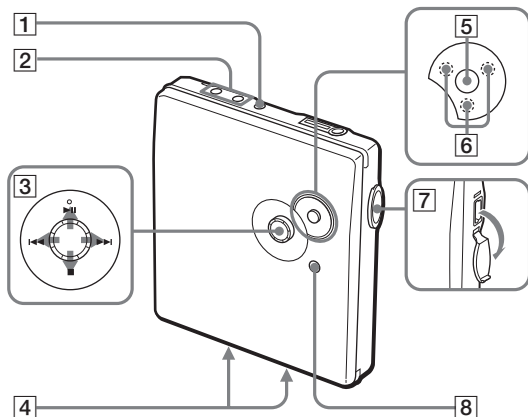
付属品を確かめる

●ACパワーアダプター

●充電スタンド

●リモコン付きヘッドホン（漢字・カナ表示対応）

●専用USBケーブル

●充電式ニッケル水素電池NH-14WM

●充電池ケース

●キャリングポーチ

●乾電池ケース

●MZ-NE810 取扱説明書（本書）
●CD-ROM（SonicStage Ver.1.5、Net MD Simple Burner Ver.1.2）＊
●パソコンでNet MDを使ってみよう！SonicStage Ver.1.5 簡単ガイド
●Net MD Simple Burner Ver.1.2 取扱説明書
●保証書
●ソニーご相談窓口のご案内
●カスタマー登録のお願い

＊ CD-ROMは音楽CDプレーヤーで再生しないでください。

各部のなまえ

本体 (前面)

1 GROUP（グループ）ボタン

2 VOL（ボリューム）（音量）+[1]、–ボタン

3 集中コントロールキー

▶II[1]: 再生 ／一時停止

■: 停止

I◀◀: 早戻し 、頭出し

▶▶I: 早送り 、頭出し

4 乾電池ケース用端子

5 DOWNLOAD（ダウンロード）ボタン[2]

付属のNet（ネット） MD Simple（シンプル） Burner（バーナー）ソフトウェアを使って、パソコンのCD-ROMドライブに入れた音楽CDから本体のMDに録音するときに使います。

6 DOWNLOAD（ダウンロード） LED

本体とパソコンの接続状態や、DOWNLOADボタン（5）を使って曲を録音しているときの状況をお知らせします。

7 USBケーブル接続用ジャック

8 3色お知らせLED

再生時や充電時の状態、電池の消耗をお知らせします。状況に合わせて各々のページをご覧ください。

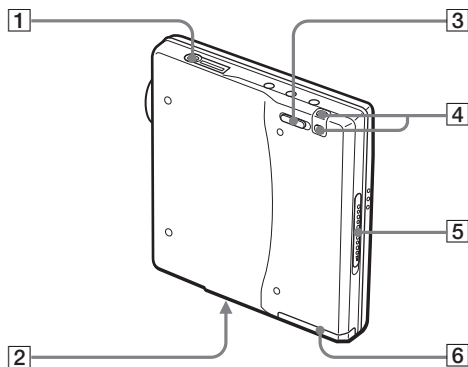
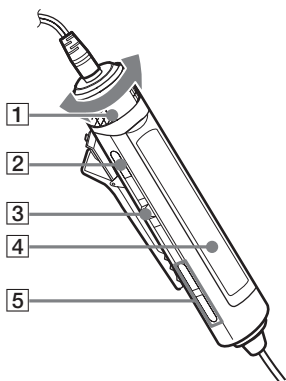
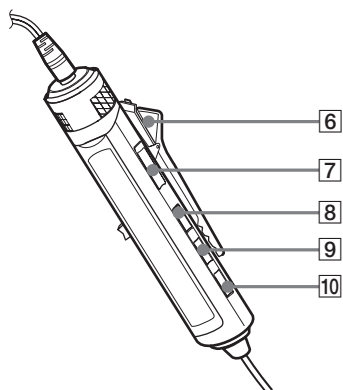
充電時 ➡ 16ページ

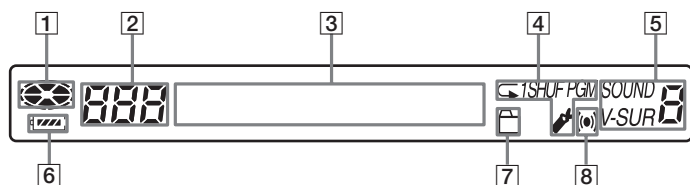
再生時 ➡ 23ページ

電池残量の確認 ➡ 37ページ

[1] 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

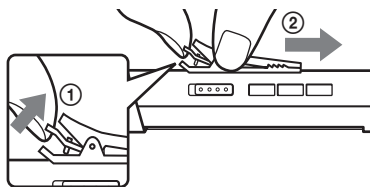
[2] 使いかたについては、別冊の「Net MD Simple Burner Ver.1.2取扱説明書」をご覧ください。

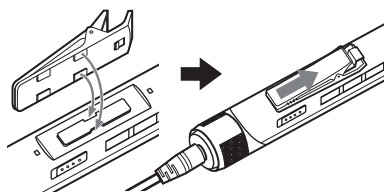
本体 (後面)

1 🎧ジャック
2 充電用端子
3 HOLD（ホールド）スイッチ
矢印の方向にずらすと、本体の操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。
4 ストラップ取り付け部
お手持ちのストラップをつけることができます。
5 OPEN（オープン）つまみ
6 充電式電池入れ

リモコン

1. 回転つまみ VOL（ボリューム）（音量）＋、－
2. ■（停止）ボタン
3. ジョグレバー
   ►II/ENT（エンター）: 再生、一時停止／決定
   I◄◄：早戻し、頭出し
   ►►I：早送り、頭出し
4. 表示窓
5. 🗀（グループ）+、–ボタン
6. クリップ
7. HOLD（ホールド）スイッチ
   矢印の方向にずらして黄色いマークを表示させると、リモコンの操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。
8. DISPLAY（ディスプレイ）ボタン
9. P MODE（プレイ モード）/⮌ボタン
10. SOUND（サウンド）ボタン

表示窓（リモコン）

1 ディスク表示
2 曲番表示部
3 文字情報表示部
4 再生モード表示
5 サウンド表示
6 電池残量表示
7 グループ表示
8 メロディータイマー表示

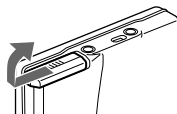
リモコンクリップの使いかた

クリップを取り付ける位置によっては、表示窓に出る文字の向きが上下逆転し、読みにくい場合があります。その場合、下記のようにリモコンのクリップを逆向きにつけてください。

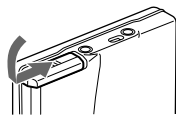
1 クリップをはずす。

2 逆向きにつける。

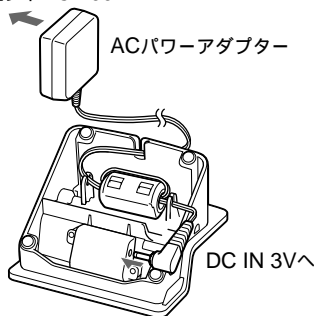
準備する

お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。ただし、ACパワーアダプターをつなげば、充電しなくても使用できます。

1 充電式電池を入れる

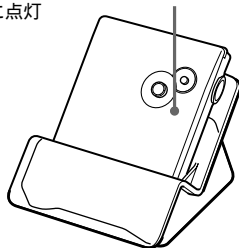
❶ **電池入れのふたを矢印の方向へ押しながらずらす。**

❷ **充電式電池を入れる。**
⊖側を奥にして入れてください。

NH-14WM

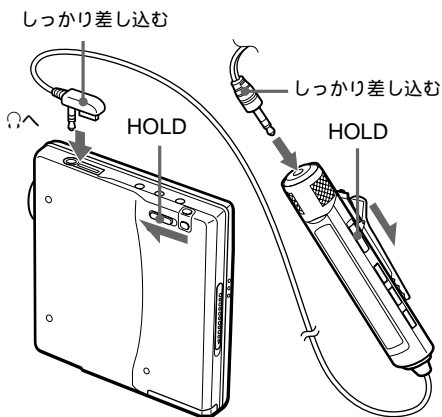
❸ **ふたを閉める。**

2 充電する

❶ **充電スタンドとACパワーアダプターをつなぎ、コンセントにつなぐ。**

充電スタンド（裏面）

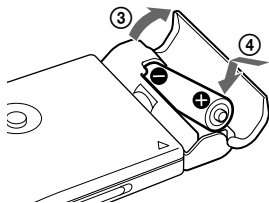
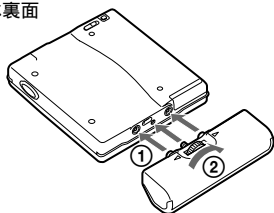
アダプターコードを上図のようにフックにとめてください。

❷ **本体を充電スタンドにのせる。**

充電状態を「3色お知らせLED」でお知らせします。
赤→オレンジ→消灯（約3.5時間後）
LEDが消えた時点でお使いになれます。さらに2時間程充電を続けると、100%充電となります。

充電が終わったら、本体を充電スタンドからはずしてください。

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

アルカリ乾電池と一緒に使うときは

乾電池ケースを本体に取り付ける

本体裏面

別売りのソニーアルカリ乾電池(単3形)を1本入れます。
充電式電池と一緒に使うと、長時間再生ができます。

ご注意

- 充電中、再生などの操作をすると充電が停止します。
- 充電式電池を充電スタンドに置いても、「3色お知らせLED」がすぐに点灯しないことがありますが、しばらくすると点灯し、充電が始まります。
- 約5℃〜+40℃内の温度の場所で充電してください。

再生時の電池の持続時間*

使用電池	**ステレオ**	LP2 **ステレオ**	LP4 **ステレオ**
ニッケル水素充電式電池	約28時間	約36時間	約40時間
アルカリ乾電池	約46時間	約56時間	約63時間
ニッケル水素充電式電池＋アルカリ乾電池	約74時間	約92時間	約106時間

* パワーセーブ機能ON時の値です。くわしくは33ページをご覧ください。

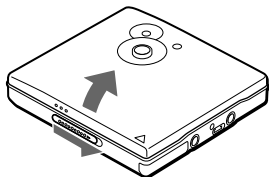
パソコンを使ってCDを録音する

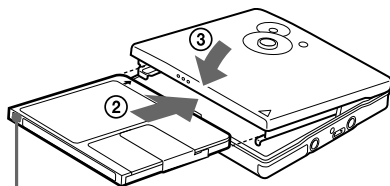
パソコンと本体をUSBケーブルで接続し、パソコンのCD-ROMドライブに入れたCDを録音することができます。録音には、付属のNet MD Simple Burnerソフトウェアーのインストールが必要です。
ここでは、本体のDOWNLOADボタンを使った録音方法を説明します。インストールおよびその他の録音方法については、別冊「Net MD Simple Burner Ver.1.2 取扱説明書」をご覧ください。

1 Net MD Simple Burner ソフトウェアをインストールする

はじめて使うときは、付属のCD-ROMを使って、ソフトウェアをインストールします。
詳しくは、別冊「Net MD Simple Burner Ver. 1.2 取扱説明書」をご覧ください。

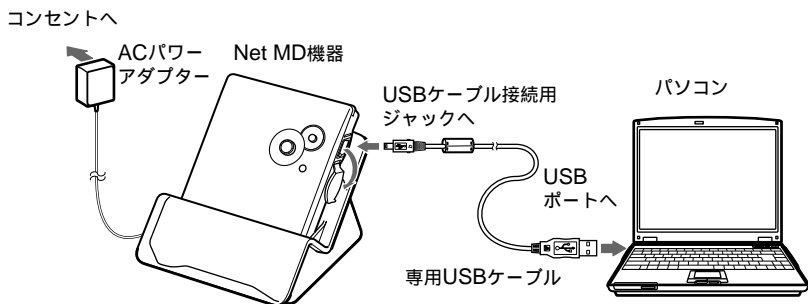
2 本体に録音用ミニディスクを入れる

❶ **OPENつまみをずらす。**
ふたが開きます。

❷ **録音用のミニディスクを入れる。**

❸ **ふたを閉める。**

誤消去防止つまみが閉じていることを確認

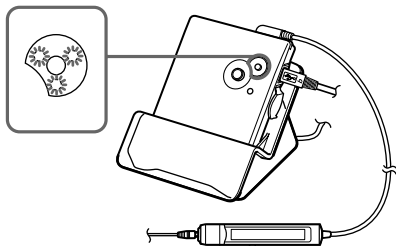
ディスクのラベル面を上にし､矢印の向きに奥まで押し入れてください。

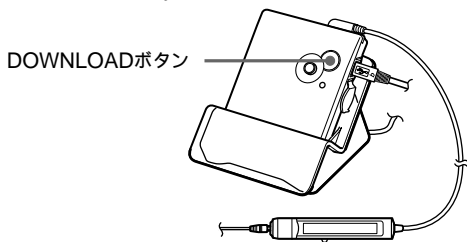
❹ **充電された充電池を入れる。**

3 電源と専用USBケーブルを、本体とパソコンに接続する

接続が終わったらパソコンの電源を入れます。

4 パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れる

5 正しく接続されたことを確認する

DOWNLOAD LEDが3つ点灯します。

6 DOWNLOADボタンを約2秒押す

DOWNLOAD LEDが点滅に変わり、録音が始まります。
すでに録音してあるミニディスクを入れたときは、録音済み部分の後ろから録音します。

録音を途中で中止するには

パソコンの画面の ▷中断 をクリックする。
1曲目を録音しているときは、■ボタンを押して中止することもできます。

ミニディスクを取り出すときは

■ボタンを押し、リモコンの「TOC Edit」表示が消えてから取り出してください。

ご注意

DOWNLOAD LEDが点滅しているときは、専用USBケーブルやACパワーアダプターを抜いたり、本体を充電スタンドからはずしたりしないでください。故障や誤動作の原因となります。

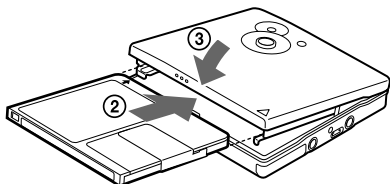
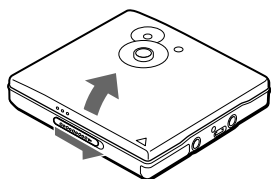
別冊「Net MD Simple Burner Ver. 1.2 取扱説明書」もご覧ください。

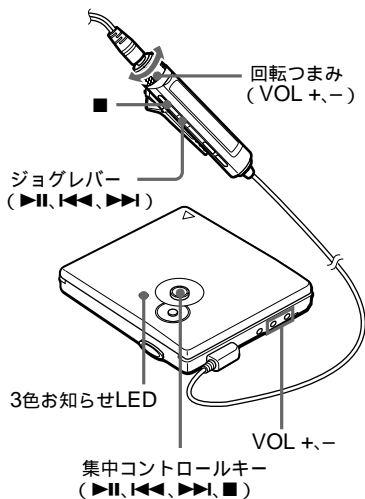
再生する

1 ミニディスクを入れる

❶ **OPENつまみをずらす。**
ふたが開きます。

❷ **録音済みのミニディスクを入れる。**

❸ **ふたを閉める。**

ディスクのラベル面を上にし、矢印の向きに奥まで押し入れてください。

2 再生する

❶ **ジョグレバー(▶II)を押す。(本体では▶IIを押す。)**
「ピ」と確認音がします。「3色お知らせLED」が点灯します。

❷ **回転つまみをVOL ＋または－側に回して、音量を調節する。(本体ではVOL ＋または－を押す。)**
リモコンの表示窓で音量を確認できます。

再生を止めるには、■を押す。(本体では■を押す。**)**
「ピー」と確認音がします。

次に再生するときは、止めたところの続きから始まります。
ディスクの初めの曲から再生を始めたいときは、ジョグレバー(▶II)を2秒以上押したままにして(本体では▶IIを押したままにして)、再生を始めてください。

こんなときは	リモコン操作	本体操作
一時停止する	ジョグレバーを押す（▶II）。もう一度押すと解除されます。	▶IIを押す。もう一度倒すと解除されます。
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする	ジョグレバーを⏮側にずらす。またはさらに戻したい曲数だけ⏮側にずらす。	⏮を押す。またはさらに戻したい曲数だけ⏮を押す。
次の曲を頭出しする	ジョグレバーを⏭側にずらす。	⏭を押す。
再生しながら早戻し／早送りする	ジョグレバーを⏮または⏭側にずらしたままにする。	⏮または⏭を押したままにする。
経過時間を見ながら聞きたい場所を探す（タイムサーチ）	一時停止中、ジョグレバーを⏮または⏭側にずらしたままにする。	一時停止中、⏮または⏭を押したままにする。
曲番を見ながら聞きたい場所を探す（インデックスサーチ）	停止中、ジョグレバーを⏮または⏭側にずらしたままにする。	停止中、⏮または⏭を押したままにする。
10曲ごとに頭出しする（グループ設定されていないディスク[1]の再生時のみ）	🗀 +または–を押す。	GROUPを押してから、⏮または⏭を押したままにする。
ディスクを取り出す	■を押してから本体のOPENつまみをずらしてふたを開ける[2]	■を押してからOPENつまみをずらしてふたを開ける[2]。

[1] くわしくは、「グループ機能を使う」（30ページ）をご覧ください。
[2] ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります（パーソナルディスクメモリー（36ページ参照）に登録しているときを除く）。

再生が始められないときは

HOLD（誤操作防止）スイッチを確認してください（13、14、17ページ）。

ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。
- 強い衝撃が連続的に与えられた場合
- 傷や汚れのあるディスクを聞いている場合

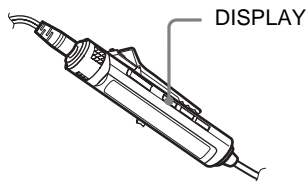
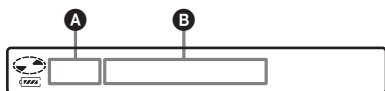
「3色お知らせLED」について

LEDの色は次のように変わります。

LED色	操作
赤色	グループ設定*されていないディスクを再生しているとき
緑色	グループ設定*されているディスクを再生しているとき
オレンジ色	グループ*を頭出し（グループスキップ）しているとき

* くわしくは、「グループ機能を使う」（30ページ）をご覧ください。

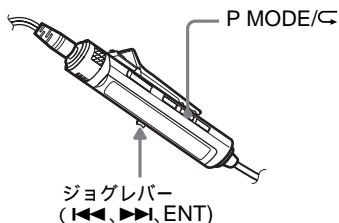
表示窓で情報を見る

表示窓で曲名、ディスク名などの情報を確認できます。グループ機能に関する表示は、グループ設定された曲を再生中の表示です。

1 再生中にDISPLAYを繰り返し押す。
押すたびに、表示は次のように変わります。

A	B
曲番	経過時間
曲番	曲名
グループ内の総曲数	グループ名
総曲数	ディスク名
曲番	グループ名（上段） 曲名（下段）
曲番	サウンドモード
曲番	SP/LPモード

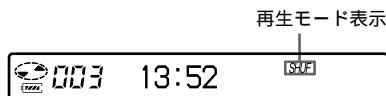
ご注意

- グループ再生／通常再生の状態や、動作状態、設定状態によっては、表示が選択できなかったり、表示が異なったりすることがあります。
- SP／LPモードは、再生中のみ表示され、しばらくすると自動的に経過時間表示に戻ります。

再生モードを選ぶ

リモコンのP MODE/⮔ボタンを使っていろいろな聞き方ができます。

1 P MODE/⮔を繰り返し押す。
押すたびに表示は次のように変わり、選んだ表示の状態で再生します。

再生モード表示

003 13:52 SHUF

表示*	再生状態
—	通常の再生（ディスク全曲を1回再生）
1	1曲再生（今再生している曲のみを再生）
（ブックマークマーク）	ブックマーク再生（ブックマーク（しおり）がついている曲だけを順番に再生）
SHUF	シャッフル再生（全曲を順不同に並べかえて再生）
PGM	プログラム再生（聞きたい曲を好きな順に並べかえて再生）

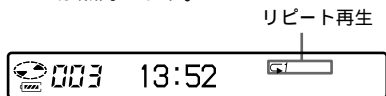
* グループ設定されたディスクでは、グループ再生モード（フォルダマーク）も表示されます。くわしくは「グループで再生する」（30ページ）をご覧ください。

繰り返し聞く（リピート再生）

通常の再生や1曲再生、シャッフル再生、プログラム再生などを繰り返し聞くことができます。

1 お好みの再生モードで再生中、P MODE/⊂を2秒以上押す。
⊂ が点灯します。

リピート再生

003　13:52　⊂1

解除するには

P MODE/⊂を2秒以上押す。

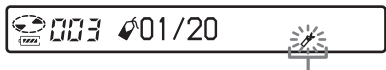
リピート再生中に、P MODE/⊂ボタンを押すと、リピートのままで再生モードを変えることができます。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマーク再生）

好きな曲にブックマーク（しおり）をつけていき、その曲だけを再生することができます。ただし、曲順を変えることはできません。

ブックマークをつけるには

1 ブックマークをつけたい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。
ブックマーク再生の1曲目が確定します。

003　01/20

ブックマークがゆっくり点滅

2 手順1を繰り返してブックマークをつけていく。
全部で20曲までつけられます。

ブックマークした曲を再生するには

1 再生中、P MODE/⊂を繰り返し押して、「TrPLAY?」を表示させる。

2 ジョグレバーを押す。
ブックマークのついた一番小さい曲番から順に再生が始まります。

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。

ご注意

ふたを開けると設定は解除されます。

好きな順に曲を並べかえて聞く（プログラム再生）

1 再生中、「PGM」が表示されるまでP MODE/⊂を繰り返し押す。

2 ジョグレバーを⏮または⏭側にずらして曲番を選び、押して決定する。

3 手順2を繰り返して、好きな順に曲を選ぶ。
全部で20曲までプログラムできます。

4 選び終わったらジョグレバーを2秒以上押して決定する。
設定が確定し、1曲目から再生が始まります。

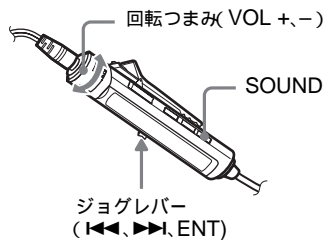
再生が終わったとき、または途中で止めたときもプログラム設定は残っています。

ご注意

ふたを開けると設定は解除されます。

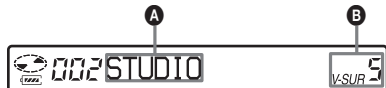
好みの音にする
（バーチャルサラウンド・6バンドイコライザ）

音の臨場感を変えたり、お好みの音質を設定することができます。
次の2つの効果から1つ選べます。

- V-SUR（**バーチャルサラウンド**）：音の臨場感を変える。（4種類）
- 6 BAND EQUALIZER（**6バンドイコライザ**）：音質を変える。（6種類）

臨場感を変える（バーチャルサラウンド）

1 再生中、SOUNDを繰り返し押し、「V-SUR」を選ぶ。

2 SOUNDを2秒以上押す。

3 ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらしてサラウンドの種類を選ぶ。

ジョグレバーをずらすたびにAとBが次のように変わります。

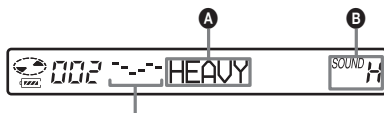
A	B
STUDIO	V-SUR S
LIVE	V-SUR L
CLUB	V-SUR C
ARENA	V-SUR A

4 ジョグレバーを押して決定する。

音質を変える（6バンドイコライザ）

1 再生中、SOUNDを繰り返し押し、「SOUND」を選ぶ。

2 SOUNDを2秒以上押す。

3 ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらしてサウンドの種類を選ぶ。

各周波数ごとのレベル　100Hz～10kHz

ジョグレバーをずらすたびにAとBが次のように変わります。

A	B
HEAVY	SOUND H
POPS	SOUND P
JAZZ	SOUND J
UNIQUE	SOUND U
CUSTOM	SOUND 1
CUSTOM	SOUND 2

4 ジョグレバーを押して決定する。

途中で設定を止めたいときは

DISPLAYまたは■を2秒以上押す。

設定を解除するときは

上記の手順1で🅑に何も表示されていない状態を選ぶ。

好みの音質にする

「CUSTOM」には、お好みの音質を記憶させることができます。

1 上記の手順1～3を行い、🅑に「SOUND 1」または「SOUND 2」を表示させる。
2 ジョグレバーを押して決定する。
3 ジョグレバーを⏮または⏭側にずらして周波数を選ぶ。

周波数(100Hz)

周波数は左から100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHz**が設定できます。**

4 回転つまみを繰り返し回してレベルを調節する。

レベル(+10dB)

レベルは次の7段階から選べます。
–10dB、–6dB、–3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

5 手順3と4を繰り返す。
6 ジョグレバーを押して決定する。

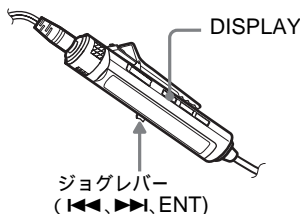
途中で設定を止めたいときは

DISPLAYまたは■を2秒以上押す。

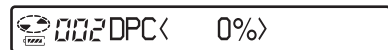
1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

再生速度を変える (デジタルピッチコントロール)

語学学習などで再生速度を変えたいときに便利です。音程を変えずに再生速度だけが変わります
+100%～–50%までの13段階から再生速度を選ぶことができます。

1 再生中、DISPLAYを2秒以上押す。

2 ジョグレバーを⏮または⏭側にずらして「USEFUL」を表示させ、押して決定する。

3 ジョグレバーを⏮または⏭側にずらして「DPC」を表示させ、押して決定する。
再生速度の設定画面になります。音を聞きながら選んでください。

4 ジョグレバーを⏮または⏭側にずらして速度を選び、押して決定する。
表示窓に「DPC」と表示されます。

途中で設定を止めたいときは

DISPLAYまたは■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

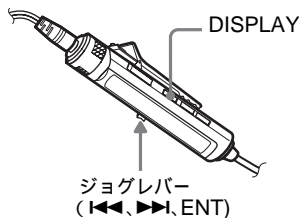
■を押す。

ディスクを出し入れすると、設定は0%に戻ります。

ご注意

再生速度を変えると、再生中に「プチプチ」という音が聞こえたり、エコーがかかったように聞こえる場合があります。

アラームを鳴らす（メロディタイマー）

電車などで乗り越しを防いだりするのに便利です。3種類のアラームから1つを選んでお使いください。アラームが鳴るまでの時間は1分から99分の間で設定することができます。メロディタイマーは停止中でも働きます。

1 **DISPLAYを2秒以上押す。**

2 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらして「USEFUL」を表示させ、押して決定する。**

3 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらして「Melody Timer」を表示させ、押して決定する。**

4 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらして「ON」を表示させ、押して決定する。**

(•)が点灯します。

00 1TIMER 1

5 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらしてアラームの音を選び、押して決定する。**

表示	アラームの音
TIMER 1	メロディ（アルルの女）
TIMER 2	メロディ（パッヘルベルのカノン）
TIMER 3	メロディ（エリーゼのために）

6 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらしてアラームが鳴るまでの時間を選ぶ。**

00 1TIME:01

ジョグレバーをずらすたび、「TIME:01」から「TIME:99」（1分から99分）までが表示され、1分刻みで設定することができます。

7 **ジョグレバーを押して決定する。**

メロディタイマーが設定されます。停止中はアラームが鳴るまでの時間が表示されます。

途中で設定を止めたいときは

DISPLAYまたは■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

アラームが鳴るまでの時間を確認するには

再生を停止する。
しばらくすると音が鳴るまでの時間が表示されます。
再生中や再生一時停止中の場合は、手順6までをもう一度行うと表示されます。

予約を解除するには

手順4で「OFF」を選ぶ。

アラームを止めるには

いずれかのボタンを押す。

- 手順4で操作を終了すると前回と同じ設定でメロディタイマーが設定されます。
- アラームは1分間鳴り、その後は設定が解除されます。停止中に音が鳴り終わると、約10秒で電源が切れます。再生中に音が鳴り終わると、そのまま再生が続きます。

ご注意

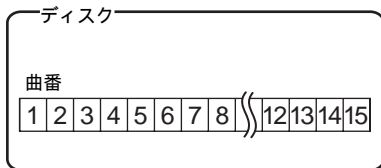
手順4で「ON」を選んだ時点で、タイマーはカウントを始めます。また、手順6で音が鳴るまでの時間を変更した時点で、カウントをやり直します。

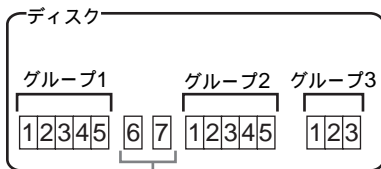
グループ機能とは

グループ設定されたディスクで、「グループ機能」を使うことができます。MDLP（LP2/LP4）モードで、1枚のディスクにCD何枚分かを録音したときや、シングルCDを集めて録音したディスクの再生をするときなどに便利な機能です。

グループ設定されたディスクとは？

1枚のディスク内で、録音された複数の曲が、次の図のようにいくつかのグループにまとまっていることをいいます。

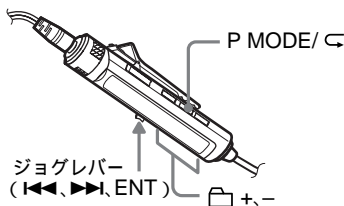
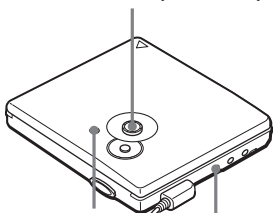
グループ設定前

1~5曲めを「グループ1」に
8~12曲めを「グループ2」に
13~15曲めを「グループ3」に
6、7曲めはグループに入れない

グループ設定後

グループに入っていない曲は「Group - -」に属しているとみなされる。

ご注意

本機でグループ設定することはできません。付属のSonicStage、Net MD Simple Burnerソフトウェアを使って設定してください。くわしくは、それぞれのマニュアルをご覧ください。

グループで再生する

グループ設定されたディスクではグループ機能を使っていろいろな再生を行うことができます。本機でグループ設定されたディスクを再生すると、「3色お知らせLED」が緑色に点灯します。
グループの再生中、ディスク中でグループに設定されていない曲は一時的に1つのグループとしてまとめられ、一番最後のグループとして扱われます。このとき「Group – –」と表示されます。曲番はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。

グループ再生する

グループ1から順にグループごとに再生したあと、グループ化されていない曲（「Group --」）を再生して終わります。

1 **再生中、P MODE/を繰り返し押して、「」を表示させる。**

グループの頭出し（グループスキップ）をするには

リモコンで操作する

1 再生中、🗀 ＋または–を押す。
🗀 –ボタンを押すとグループの先頭曲に、続けてもう一度押すと前のグループの先頭曲に移動します。頭出し中は、「3色お知らせLED」がオレンジ色に点滅します。

本体で操作する

1 再生中、GROUPを押す。
「3色お知らせLED」がオレンジ色に点灯します。

2 ⏮またはを⏭押す。

グループ単位で再生モードを選ぶ（グループモード再生）

グループ設定されたディスクでは、グループ単位でのシャッフル再生やプログラム再生ができます。

1 P MODE/⮌を繰り返し押す。
通常の再生モードに続いて、次のグループ再生モードが表示されます。

表示	再生状態
🗀	グループ通常再生（先頭グループから順にグループごとに1回再生）
🗀 SHUF	イングループシャッフル（再生中のグループ内の曲をシャッフル再生、そのあと順に次のグループ内の曲をシャッフル再生）
🗀 PGM	グループプログラム（グループ単位で再生の順番を変える）

選んだグループ再生モードを繰り返し聞く（グループリピート再生）

1 お好みのグループ再生モードで再生中、P MODE/⮌を2秒以上押す。
それぞれのグループ再生モードで繰り返し再生します。

表示	再生状態
🗀 ⮌	再生中のグループの曲をリピート再生
🗀 SHUF ⮌	再生中のグループの曲をシャッフルリピート再生
🗀 PGM ⮌	プログラムされたグループ単位の曲をリピート再生

好きな順にグループを並べかえて聞く（グループプログラム再生）

「好きな順に曲を並べ変えて聞く（プログラム再生）」（25ページ）と同様の手順で、再生するグループの順番を設定します。全部で10個までプログラムできます。グループ内の曲順は変えられません。

各種設定

本機では、リモコンのメニューを使って、様々な設定をお好みに合わせて変えることができます。

メニュー一覧

メニュー1はメニューに入ったときに選べる項目、メニュー2はメニュー1を選んだ後に選べる項目、メニュー3はメニュー2を選んだ後に選べる項目です。●印がついているものは、お買い上げ時の設定です。

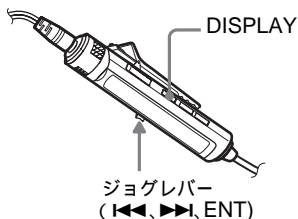
ご注意

表示される項目は、操作状況やディスクの設定により異なります。

メニュー

メニュー 1	**メニュー** 2	**メニュー** 3	**参照ページ**
USEFUL	PERSONAL	Entry? ←→ Erase?	36ページ
	Melody Timer	OFF（●）←→ ON	28ページ
	DPC	—	27ページ
OPTION	AVLS	AVLS OFF（●）←→ AVLS ON	34ページ
	BEEP	BEEP OFF ←→ BEEP ON（●）	33ページ
	BACK LIGHT	AUTO（●）←→ ON ←→ OFF	35ページ
	表示方式選択	漢字カナ交互 ←→ 漢字優先（●）	35ページ
	PowerMode	NORMAL（●）←→ QUICK ←→ PowerSave	33〜34ページ

メニュー操作のしかた

メニューの操作はリモコンで行います。

1 DISPLAYを2秒以上押す。
メニュー画面になります。

2 ジョグレバーをずらして、項目を選択する。

3 ジョグレバーを押して、項目を決定する。

4 表示にしたがって、手順2と3を繰り返す。
最後にジョグレバーを押した時点で設定が確定します。

1つ前の段階に戻すには

■ボタンを押す。

途中で中止するときは

DISPLAYボタンまたは■ボタンを2秒以上押す。

便利な機能

確認音を消す

本体・リモコンの確認音を鳴らす／鳴らさないを設定することができます。

1 **メニュー**－「OPTION」－「BEEP」**を選ぶ。**

2 「BEEP OFF」**を選ぶ。**

設定を戻すには

「BEEP ON」を選ぶ。

電池の消耗を抑える（パワーセーブ機能）

電池の持続時間を最大限に長くする機能です。本体の「3色お知らせLED」を常に消灯させたり、操作した後まもなくリモコンの表示を消灯させたりして、電池の消耗を抑えます。

1 **メニュー**－「OPTION」－「PowerMode」**を選ぶ。**

2 「PowerSave」**を選ぶ。**
本体の「3色お知らせLED」が消えます。

「3色お知らせLED」をつけるには

「NORMAL」を選ぶ。

すばやく音を聞く（クイックモード）

再生ボタンを押したあとや、曲を頭出ししたあと、すばやく再生音を聞くことができます。

1 **停止中または再生中に、メニュー－「OPTION」－「PowerMode」を選ぶ。**

2 **「QUICK」を選ぶ。**

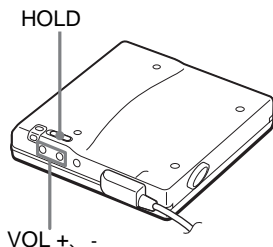
設定を戻すには

「NORMAL」を選ぶ。

ご注意

- 設定を「QUICK」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。そのため、電池の持続時間が短くなりますので、毎日充電することをおすすめします。
- 何も操作がされない状態（ふたの開閉を含む）で、17時間が経過すると、自動的に本体内部の電源が切れます。次に操作したときの動作は遅くなりますが、その後はまたクイックモードになります。

音もれを抑え耳にやさしい音にする（AVLS－オートボリュームリミッターシステム－快適音量）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。
本体でも設定できます。

1 **メニュー－「OPTION」－「AVLS」を選ぶ。**

2 **「AVLS ON」を選ぶ。**
音量を一定のレベル以上に上げようとすると、表示窓に「AVLS」が点滅し、それ以上音量が上がらなくなります。

本体で設定するには

再生中、HOLDスイッチを➡の方向にずらし、VOL －ボタンを押しながら、HOLDスイッチを➡と逆方向にずらします。

設定を解除するには

「AVLS OFF」を選ぶ。
本体では、再生中にHOLDスイッチを➡の方向にずらし、VOL +ボタンを押しながら、HOLDスイッチを➡と逆方向にずらします。

表示窓のバックライトをつける／消す

リモコンの表示窓を常に点灯させる／点灯させない設定をすることができます。

1 停止中に、メニュー－「OPTION」**－**「BACK LIGHT」**を選ぶ。**

2 お好みの設定を選ぶ。

表示	設定
AUTO	操作中は点灯。何もしないで数秒たつと消灯。
ON	動いているときは常に点灯。
OFF	常に消灯。

パソコンなどで入力した漢字のタイトルを見る

付属のSonicStage、Net MD Simple Burner ソフトウェアを使って、漢字やひらがなで文字入力をすると、本機のリモコンで表示させることができます。
表示のしかたは2種類あります。

- **漢字優先**：お買い上げ時の設定。通常はこちらにしておきます。
- **漢字カナ交互**：パソコンで文字入力時、全角エリア*と半角エリア*にそれぞれ違う情報（例：全角エリアに曲名、半角エリアにアーティスト名など）を登録した場合などに選びます。両方の情報が表示されます。

* くわしくは、「SonicStage Ver.1.5 簡単ガイド」をご覧ください。

「漢字カナ交互」に設定するには

1 メニュー－「OPTION」**－「表示方式選択」を選ぶ。**

2 「漢字カナ交互」を選ぶ。

ご注意

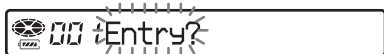
本機では、パソコンソフトでの文字入力時には全角にしていても、英数時とスペースについては、全て半角で表示されます。

ディスクごとに設定を記憶する（パーソナルディスクメモリー）

ディスクの設定情報を本体に登録します。一度登録したディスクを再度入れなおすと、設定情報は自動的に呼び出されます。次の設定情報が登録できます。

- 音量
- 再生モード
- グループモード
- プログラム再生
- 音質（バーチャルサラウンド／6バンドイコライザ）
- 再生速度（デジタルピッチコントロール）
- ブックマーク

1 メニュー－「USEFUL」－「PERSONAL」を選ぶ
「Entry?」が点滅します。

00 Entry?

2 ジョグレバーを押して決定する。
「Entry OK」と表示され、現在のディスクの設定情報が登録されます。

登録を消すには

1 登録から削除したいディスクを入れ、内容を確認する。
2 上記手順1の後、「Erase？」を選ぶ。
「Erase OK」と表示されディスクの設定情報は登録から削除されます。

ご注意

登録していないディスクでこの操作を行うと、「No Entry!」が表示されます。

パーソナルディスクメモリーに登録したディスクを再度入れると、「PERSONAL」が表示されます。

ご注意

- ディスク20枚分まで登録することができますが、20枚を越えると再生した時期が古いものから、自動的に消去されます。
- 一度登録したディスクを編集（名前の編集は除く）したり、録音したりすると、別のディスクと認識され、登録されている情報は無効になります。その場合は、もう一度登録し直してください。

電源について

家庭用電源（コンセント）以外に本機で使える電源は、以下の通りです。

- 充電式ニッケル水素電池NH-14WM（本体に入れる）
- 単3形アルカリ乾電池（付属の乾電池ケースを使う）

パソコンからの録音や長時間お使いになるときは、家庭用電源（コンセント）につなぐことをおすすめします。電池をお使いの場合は、電池の消耗による失敗を防ぐため、充分に充電した充電式電池、または新しい乾電池をお使いください。

電池の持続時間[1)]

電池の持続時間は周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなる場合があります。

再生時　(JEITA[2)])

使用電池	ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
充電式ニッケル水素電池[3)]	約28時間	約36時間	約40時間
アルカリ乾電池[4)]	約46時間	約56時間	約63時間
充電式ニッケル水素電池＋アルカリ乾電池	約74時間	約92時間	約106時間

1) パワーセーブ機能ON時の値です。
2) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
3) 充電式ニッケル水素電池NH-14WM(A)、100%充電時。
4) 日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6(SG)で測定しています。

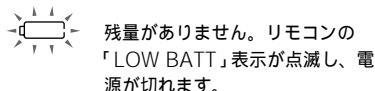
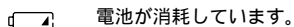
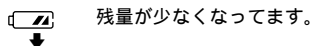
電池交換の目安について

ご使用中、リモコンの表示窓の電池残量表示、または本体の「3色お知らせLED」表示でお知らせします。

リモコン表示窓 の電池マーク

残量が少なくなってます。

電池が消耗しています。

残量がありません。リモコンの「LOW BATT」表示が点滅し、電源が切れます。

本体の「3色お知らせLED」表示

LED点灯　電池残量は充分です。

LED遅い点滅　電池残量が少なくなってます。

LED速い点滅　電池残量がありません。しばらくするとLEDが消灯し、電源が切れます。

電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安として表示しています。動作状況および環境により増減することがあります。

ご注意

電池を交換するときは、本体を停止してから交換してください。

使用上のご注意

分解しないでください

ミニディスクプレーヤーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

レンズに触れないでください

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

ACパワーアダプターについて

- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  — 本機を棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  — 火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など、水の入ったものを置かないでください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先
社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp/ を参照してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
— 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
— 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
— 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
— 風呂場など湿気の多いところ。
— 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
— ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温に戻れば元に戻ります。
- キャリングポーチには本体と一緒に硬いものを入れないでください。塗装のはげや傷の原因になります。
- 読み込み中や書き込み中にディスクを抜いたり、電源をはずしたりしないでください。正常に録音されなかったり、録音した音楽データが失われることがあります。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、正常に録音されなかったり、録音した音楽データが失われることがあります。

温度上昇について

充電中および長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

充電について

- 付属の充電スタンドは本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは、指定の充電池以外は充電しないでください。
- 充電には必ず、付属のACパワーアダプターをお使いください。
- 充電は、約+5℃〜+40℃の場所で行ってください。
- 充電中は、充電スタンドや本体が熱くなりますが、危険はありません。
- お買い上げ時や長い間使わなかった場合、充電式電池の持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電を繰り返すと充分充電されるようになります。
- 充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と交換してください。
- 長い間お使いにならないときはACパワーアダプターをコンセントから抜き、本体を充電スタンドからはずしてください。

ミニディスクの取り扱いについて

- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

— **ミニディスクに直接触れない**
シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

— **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる**

— **置き場所について**
直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。

— **定期的にお手入れを**
カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。

- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせてしっかり貼ってください。

ヘッドホンについて

- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人に迷惑にならないように気をつけましょう。
  雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで、本機の操作はできません。

乾電池ケースについて

付属の乾電池ケースは本機専用です。

お手入れについて

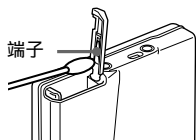
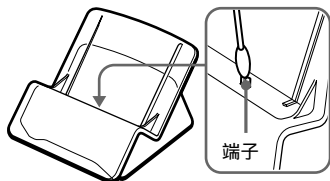
表面が汚れたときは

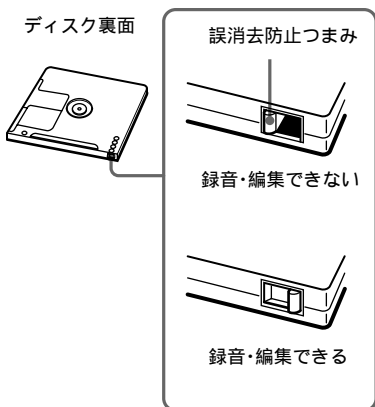
水気を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れ

プラグが汚れていると雑音や音切れの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。

端子のお手入れについて

定期的に各端子を綿棒ややわらかい布などできれいにしてください。

誤消去防止つまみについて

録音したものを誤って消さないために、誤消去防止つまみをずらして穴が開いた状態にします。つまみをずらして穴があいた状態にすると、録音・編集ができません。録音・編集するときはつまみを閉めます。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。(ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。)

主な仕様

形式

ミニディスクデジタルオーディオシステム

録音方式

磁界変調光学方式

再生読み取り方式

非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)

レーザー

GaAlAsMQWダイオード、
λ=790nm

録音再生時間（MDW-80使用時）

モノラル最大 160分
ステレオ最大（LP4）320分

回転数

約350 rpm〜3600 rpm(CLV)

エラー訂正方式

ACIRC（アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモン コード）

サンプリング周波数

44.1kHz

コーディング

ATRAC（アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング）
ATRAC3 — LP2/LP4

変調方式

EFM

周波数特性（ヘッドホン出力端子）

20〜20,000 Hz±3 dB

出力端子

ヘッドホン：ステレオミニジャック
最大出力：5 mW + 5 mW（16 Ω）

電源

充電式ニッケル水素電池
NH-14WM(A) 1.2 V, 1350 mAh (MIN) Ni-MH　1個
アルカリ乾電池（単3形）　1個
ACパワーアダプター DC 3V, AC 100V, 50/60 Hz

電池持続時間*

「電池の持続時間」（37ページ）参照

本体寸法

約73.3 × 79.0 ×14.8 mm
（幅/高さ/奥行き、突起部含まず）

最大外形寸法*

約75.2 × 80.0 × 17.6 mm
（幅/高さ/奥行き）

質量

約82g（本体のみ）
約109g（充電式電池含む）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

ACパワーアダプター　AC-E30L
充電式ニッケル水素電池 NH-14WM
ステレオヘッドホン*MDR-EX51SP、MDR-EX71SL、MDR-E888SP
アクティブスピーカーSRS-A202、SRS-Z30、SRS-Z510など
ミニディスク(生ディスク)ESシリーズ

* ヘッドホンは、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。

下記の機種を本機と併用することはできません。
リモートコントローラーRM-MC11EL、RM-MC12ELK
ロータリーコマンダーRM-WMC1
MDラベルプリンターMZP-1
ICメモリー・リピートラーニング・MDコントローラーRPT-M1

故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてみてください。（メッセージ一覧（46ページ）も合わせてご覧ください。）メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
また、本書の手順の中や「メッセージ一覧」にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

手順2　「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる

http://www.sony.co.jp/support-pa/ で調べる。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

手順3　それでもトラブルが解決しないときは

お客様ご相談センター（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

充電について

症状	原因	対策
充電ができない、または充分に充電ができない	充電式電池や乾電池が正しく入れられていない。またはACパワーアダプターが正しくつながっていない。	充電式電池や乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れ直す。またはACパワーアダプターを正しくつなぐ。
	充電スタンドの充電用端子が汚れている。	充電用端子を乾いた布などで拭いてください。
	お買い上げ時や長い間使わなかった場合は、電池の特性により持続時間が短いことがある。	何回か充放電を繰り返すと、充分に充電されるようになります。
	充電式電池が消耗しきっている（充電スタンドにおいても表示窓に何も表示されない）。	充電してください。1分程すると充電が始まります。それでも充電が始まらないときは、もう一度本体を充電スタンドに置き直してください。
	充電式電池が入っていない。	充電式電池を入れてください。
本体を充電スタンドに置いても「3色お知らせLED」がつかない	本体を充電スタンドに置いてもすぐに「3色お知らせLED」がつかないときがあります。	本体を充電スタンドに置いて約3分後、「3色お知らせLED」が点灯し、充電が始まります。
使っていなかったのに充電式電池が消耗してしまった	クイックモードの設定が「QUICK」になっていた（34ページ）。	クイックモード設定を「QUICK」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。そのため、電池の持続時間が短くなります。充電が充分ではない状態でかつ、設定が「QUICK」になっていると、使わない間に充電式電池が消耗しまうことがあります。そのときは、もう一度充電してください。
充分に充電しても使える時間が通常の半分程しかできない	電池の寿命かもしれません。	新しい充電式電池と交換してください。
充電中に本体や充電スタンドが熱くなる	故障ではありません。	—

再生中

症状	原因	対策
通常の再生ができない	リピート再生を指定している。	P MODE/ボタンを2秒以上押して、（リピート）表示を消してから再生を始めてください（24ページ）。
	再生モードを変えた。	P MODE/ボタンを押して、通常の再生に戻してから再生を始めてください（24ページ）。
ディスクの1曲目から再生しない	前回再生したときディスクの途中で止めた。	一度停止させ、本体では►を、リモコンではジョグレバーを、2秒以上押したままにしてください。
	パーソナルディスクメモリーに登録した。	パーソナルディスクメモリーから削除してください（36ページ）。
再生中に音がとぎれる	振動の多い場所に置いている。	振動の少ない場所で使ってください。
雑音が多い	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置いてください。
音が大きくならない	AVLSが働いている	AVLSの設定を解除してください（34ページ）。
ヘッドホンから音が出ない	リモコン付きヘッドホンがしっかり差し込まれていない。	ジャックにしっかり差し込んでください。 リモコン本体にヘッドホンプラグをしっかり差し込んでください。
	プラグが汚れている。	ヘッドホンとリモコンのプラグ部分を乾いた布などで拭いてください。
本体で早送りまたは早戻しをすると何曲か先または前の曲に飛んでしまう	グループスキップが働いている。	何も操作せずに5秒以上待つと、自動的にグループスキップが解除されます。
グループ機能が働かない	グループ設定されていないディスクが入っている。	グループ設定されているディスクを入れてください。

録音中

症状	原因	対策
DOWNLOADボタンで録音できない	パソコンと接続されていない。	専用USBケーブルで接続してください。
	パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDが入っていない。	音楽CDを入れてください。
	ディスクに録音できる容量が足りない。	他の録音用ディスクと取り換えてください。

その他一般

症状	原因	対策
操作を受けつけない、または正しく動作しない	充電式電池を充電していない。	充電してください。
	VOL（音量）が小さくなっている。	音量を上げる。
	ディスクが入っていない。	録音済みのディスクを入れてください。
	ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すと「HOLD」表示が出る）。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除してください（13、14、17ページ）。
	ふたがしっかりと閉まっていない。	カチッと音がするまでふたを閉めてください。
	結露（内部に水滴が付着）している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おいてください。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN 3Vジャックとコンセントにしっかり差し込んでください。
	電池が消耗している（「LOW BATT」表示が点滅または何も表示されない）。	充電するか、乾電池を新しいものと交換する（16、17ページ）。またはACパワーアダプターをつないでください。
	乾電池が正しく入れられていない。	乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れなおしてください（17ページ）。
	内部システムが誤動作している。	パソコンを再起動してから装着してください。
	使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けている。	次の手順で操作しなおしてください。 **1** 全ての電源をはずす。 **2** 約30秒間そのままにする。 **3** 電源をつなぐ。
再生中、リモコンの表示窓が点灯しない	パワーセーブ機能が働いている。	パワーセーブ機能が働いているとき、リモコンで操作すると表示窓が点灯しますが、本体で操作してもリモコンの表示窓は点灯しません。（ただし、本体のGROUPボタンを押した時のみ点灯します。）
液晶表示が通常表示と違う	電源を抜いた。	しばらく放置する。または電源を入れていずれかの操作ボタンを押してください。
ACパワーアダプターで使用時、停止後もしばらく表示窓がかすかに光っている	システム上の制約です。充電スタンドでの充電時間を積算するために、停止後3分たってから電源が切れることになっています。	—
本体を充電スタンドにのせているときに、DOWNLOAD LEDが点滅・点灯する	デモモードに入っています。故障ではありません。	本体に充電式電池を入れると、デモモードに入らなくなります。

メッセージ一覧

リモコンの表示窓にメッセージが出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味	対策
FULL	21曲めのブックマークをつけようとした（25ページ）。	ブックマークをつけられるのは20曲までです。20曲以内でブックマークをつけてください。
AVLS	AVLSの設定が「AVLS ON」になっているので、これ以上音量をあげられない（34ページ）。	AVLSの設定を「AVLS OFF」にしてください。
BLANK DISC	何も録音されていないディスクが入っている。	—
CannotCHG	指定温度ではないところで充電しようとした。	指定温度の範囲内（約+5℃～+40℃）で充電してください。
Charging	充電中に表示される。	—
CHECK PC	パソコンとの接続時になにか問題がある。	パソコンの画面に表示されるメッセージを確認し、対応する。
DISC FULL	ディスクの録音できる残り時間が足りない。	他の録音用ディスクと取り換える。
ERROR	内部システムが誤動作している。	45ページの表中の手順1～3を行う。
Hi DC in	電源電圧が高い（指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使っていない）。	指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使う。
HOLD	ホールド機能が働いている。	本体のHOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する（13、14、17ページ）。
INSERT CD	パソコンからの録音時に、CD-ROMドライブにCDが入っていない。	音楽CDを入れる。
LOW BATT	電池が消耗した。	充電池を充電し直すか、新しい乾電池と入れ換える（16、17ページ）。
MENU	リモコンでメニューの選択中に本体キーのどれかを押した。	リモコンで操作する。
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
No Entry!	パーソナルディスクメモリーを登録していないディスクでパーソナルディスクを削除しようとした。	—
No MARK	ブックマークがついていないのに、ブックマーク再生（「TrPLAY」）をしようとした。	ブックマークをつけてから（25ページ）操作する。
NoOPERATE	リモコンでプログラム設定中に +、–を押して、グループスキップしようとした（31ページ）。	—

表示	意味	対策
NOT CD-DA	パソコンからの録音時に、音楽CD以外のCDがCD-ROMドライブに入っている。	音楽CDを入れる。
PROTECTED	ディスクが誤消去防止状態になっている（40ページ）。	誤消去防止つまみを戻す。
Push STOP	「TOC Edit」が表示されているときに、ふたを開けようとした。	■ボタンを押した後、「TOC Edit」の表示が消えてからふたを開けてください。
READ ERR	ディスクの情報を正しく読み取れなかった。	ディスクを入れ直す。
REC ERR	正しく録音できなかった。	振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直す。
	ディスクにひどい汚れ（油膜、指のあとなど）や傷がある、またはディスクが規格外である。	ディスクを交換して録音をやり直す。
SLOW CHG	温度が低いところで充電をしようとした。	約+5℃～+40℃の場所で充電してください。
TEMP OVER	本機の温度が高くなりすぎた。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TOC Edit	録音した情報（曲の開始・終了位置など）をディスクに記録している。	しばらく待つ（衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない）。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックを
  この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合の悪いときは
  お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
  修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間について
  当社ではポータブルミニディスクプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

アルファベット・数字

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  （http://www.sony.co.jp/support-pa/）
  Net MD対応機器に関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]－[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

  ◆セット本体に関するご質問時：
  - 型名：
  - ご相談内容：できるだけ詳しく
  - お買い上げ年月日

  ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
  質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境（別冊の「SonicStage Ver.1.5簡単ガイド」37ページの項目／「Net MD Simple Burner Ver.1.2 取扱説明書」28ページの項目）を事前にわかる範囲で、ご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ……………………… 0466-31-2595

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100％古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan